

1 水位周知河川

●水位周知河川の状況

・河川の規模や人口・資産の集積状況等を考慮し、**洪水予報河川3河川と水位周知河川37河川を指定済み。**

(1)令和4年度の実施内容

令和4年7月大雨被害を受け、市町村へ追加要望調査を実施。

また、被害が甚大であった鳴瀬川水系名蓋川(大崎市・加美町)について、水位周知河川の検討を実施。

(2)令和5年度の実施内容

1)追加指定について

・名蓋川(北部管内)の水位周知河川への指定予定。

2)追加要望調査

・追加要望調査結果から、技術的に水位周知河川指定の指定可能性のある河川について、**水位設定の検討を実施し、関係市町村と調整した上で、令和6年度以降に指定できるよう作業を進める。**

①令和5年度に検討を実施する河川(指定の可能性のある河川)

6河川6区間 落堀川、夏川、美女川、名取川、松川、新川(阿武隈水系)

→関係市町村の意向(リードタイムなど)を踏まえて、水位の設定などについて検討していく。

※検討の結果、リードタイムが確保できないなど、水位設定が困難となる場合があるため、全ての河川が指定出来るわけではない。

②要望があったものの指定が困難である河川の対応

危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラが設置されていない場合は、市町村の意向を確認しながら、別途要望調査を実施している要望箇所と合わせて優先順位の検討を実施する。

2 危機管理型水位計

(1)危機管理型水位計の概要

・「中小河川緊急対策プロジェクト」(平成29年12月)において、洪水に特化した低コストの水位計(危機管理型水位計)の設置を位置付け。(設置費用は、200万円/基程度)

・河川の水位が一定の水位を超過すると観測を開始し、危機管理型水位計運用協議会ウェブサイト「川の水位情報」で表示され、誰でもリアルタイムで川の水位が確認が可能。

(2)宮城県内の設置状況

・平成30年9月から運用を開始し、令和3年4月から**県内123か所で運用**

(3)令和5年度の実施内容

・令和4年7月の大雨被害を受け令和4年度に実施した**市町村要望の結果を踏まえ、優先順位を検討を進める。**

・**優先順位を踏まえ、市町村と調整しながら設置個所を選定し、設置を進める。**

※設置基数については、未定

・設置済み箇所の機器について、更新計画を定める。



図・設置状況(大江川)

3 簡易型河川監視カメラ

(1)簡易型河川監視カメラの概要

・平成31年1月に改訂された「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」中に、簡易型河川監視カメラの設置が位置付け。

・機能を限定(ズームや首振り機能を削除。設置費用は、200万円/台程度)。

・「川の水位情報」で誰でもリアルタイムで確認可能。(10分毎の静止画像)

(2)宮城県内の設置状況

・令和3年4月から県内65か所で運用を開始し、現在、**県内67箇所で運用**

(3)令和5年度の実施内容

・令和4年7月の大雨被害を受け令和4年度に実施した**市町村要望の結果を踏まえ、優先順位を検討を進める。**

・**優先順位を踏まえ、関係市町村と調整しながら設置個所を選定し、設置を進める。** ※設置基数については、未定

・設置済み箇所の機器について、更新計画を定める。



日中



夜間

図・監視状況(旧笹川調整池)